

47 生島四郎記念碑と奉納の石灯籠／祇園神社 神戸市兵庫区上祇園町12-1

- ▶ 勝海舟と親交があった神戸村の庄屋 生島四郎太夫は、この奥平野にあった乾家の次男として生まれました。乾家を出て養子として生島家へ入っています。生島家は三宮駅の南側、三宮神社の東隣にありました。また、別邸を祇園神社の近くに設け、勝海舟は一時的に寓居先としていました。生島四郎太夫は、なじみの深い祇園神社に、明治15年(1882)石灯籠を一對寄進しています。平成11年、子孫の乾氏により、生島四郎太夫の記念碑もに建てられています。



祇園神社から見た神戸(西方面)

祇園祭
 神社の名のとおり、日本3大祭りである「祇園祭」が、ここ祇園神社においても、毎年7月13日～20日の8日間、祇園祭が盛大に行われます。



- ▶ No.47で紹介しましたが、勝海舟が文久2年(1862)の12月より摂海警衛のため兵庫の地をしばしば訪れるようになりました。
 文久3年(1863)4月23日、第14代将軍徳川家茂を大坂・兵庫間蒸気船で案内し、海軍操練所の必要性を直接提言します。
 それが認められ、海舟は神戸村に腰を落ち着けることになり、自邸を持つこととなります。自邸についてはNo.16で紹介しました。
 自邸ができるまで短期間ではありますが、勝海舟は神戸村庄屋の生島四郎太夫の別邸を寓居先として使用しました。
 別邸はその後、生島家の手を離れ小曾根喜七氏が買い取りました。現在は小曾根家の所有ではありますが、誰も住んでおられません。

西側の門

当時のまま残されているのは、西側の門と庭です。門は江戸時代後期に作られ、現在、神戸市の重要文化財指定へ申請中との事です。



庭

庭に池がありますが、ここは昔、字清水という住居表示で、自然に水が湧いています。池の東側に杏の木がありますが、海舟が住んでいた頃から残っている木です。海舟は、神戸の地に海軍操練所があったことを後世に伝えるため「海軍営之碑」を作らせていました。しかし、池田屋の変、禁門の変などで、海軍操練所の継続が難しくなったため、「時が来るまで埋めておいて欲しい」と海舟は生島に頼み、杏の木の根元に埋めました。
 生島家から小曾根家へ所有が変わり、小曾根氏の手により埋められている石碑を掘り出しました。その碑が、現在、諏訪山公園に建っています。



- ▶ 明治42年(1909)10月26日にハルビンにて伊藤博文は暗殺されましたが、神戸又新日報では伊藤に関する追悼記事の連載を掲載しています。
同年10月28日の新聞では、伊藤と親交が深かった瀬鴻庄左衛門へのインタビュー記事が次のとおり掲載されました。

「(前文省略) 明治三年でしたとせう、伊藤公が上京中令夫人お梅の方は六 七歳の令嬢を連れ 当地のお宅で留守番されて居ましたが 其令嬢は大病に罹り遂に逝くなられました 奥方は長崎の方で大の佛教信者ですから私達共々充分のお世話を致し下山手通六丁目 浄土宗 誓願寺の和尚を導師として盛な葬式を営み 遺骸は亜米三の隣り測候所の山に葬り 今も尚 其石碑は残って居ります。

彼の地は官有地でなかなか墓所になど出来ないのですが 伊藤公から成るべく景色のよい所に埋めといふ手紙もあり 傍ら公の権勢が素晴らしいものでしたから、ナニ構うものかとあすこへ持って行ったのです、公とお梅の方との間に出来た実子は 其後神戸に来られる毎に丁重に供養されて誓願寺へもいろいろ心付けをせられるので寺は貧乏ではありますが見掛けに奢らぬよい道具などがあります、(以下省略)」



51 明治天皇御小休所跡 神戸税関監視部建物跡

神戸市中央区諏訪山町2

- ▶ 明治天皇が小休止されたとする舊神戸税関監視部建物跡の碑があります。



- ▶ 明治42年(1909)10月26日にハルビンにて伊藤博文は暗殺されましたが、神戸又新日報では伊藤に関する追悼記事の連載を掲載しています。同年10月28日の新聞では、伊藤と親交が深かった瀬鴻庄左衛門へのインタビュー記事が次のとおり掲載されました。

「(前文省略) 明治三年でしたとせう、伊藤公が上京中令夫人お梅の方は六 七歳の令嬢を連れ 当地のお宅で留守番されて居ましたが 其令嬢は大病に罹り遂に逝くなられました 奥方は長崎の方で大の佛教信者ですから私達共々充分のお世話を致し下山手通六丁目 浄土宗 誓願寺の和尚を導師として盛な葬式を営み 遺骸は亜米三の隣り測候所の山に葬り 今も尚 其石碑は残って居ります。

彼の地は官有地でなかなか墓所などに出来ないのですが 伊藤公から成るべく景色のよい所に埋めといふ手紙もあり 傍ら公の権勢が素晴らしいものでしたから、ナニ構うものかとあすこへ持って行ったのです、公とお梅の方との間に出来た実子は 其後神戸に来られる毎に丁重に供養されて誓願寺へもいろいろ心付けをせられるので寺は貧乏ではありますが見掛けに奇らぬよい道具などがあります、(以下省略)」



明治天皇御小休所跡 神戸税関監視部建物跡

神戸市中央区諏訪山町2

- ▶ 明治天皇が小休止されたとする舊神戸税関監視部建物跡の碑があります。

